

交流情報誌

季刊

新 往来

第15号 2004.12.16

編集・発行

農林水産省農村振興局農村政策課



掲載記事一覧

わがまち自慢 …… 3

- 田人おふくろの宿 (福島県いわき市)
- 花が好きです「町の花りんどうくらぶ」 (千葉県栄町)
- 農家と地域住民の交流を!!「かつめま朝市会」 (山梨県勝沼町)
- 幻の赤かぶ復活! (長野県三岳村)
- 新発田市観光ガイドボランティア (新潟県新発田市)
- 総合保健福祉センター「ほっとサロン」が完成しました (岐阜県福岡町)
- 平湯大滝公園がオープンしました (岐阜県上宝村)
- 清流長良川を守るために!「長良川環境レンジャー」 (岐阜県岐阜市)
- 地域住民のパワーを結集「なんび青空市場」 (滋賀県日野町)
- 古代のロマンあふれる大中遺跡 (兵庫県播磨町)
- マイスター工房八千代 (兵庫県八千代町)
- インターネットで和歌山産品をお買い物「ふるさと和歌山わいわい市場」 (和歌山県)
- 歴史の森の三本杉 (山口県徳地町)
- 日本最大級!!大獅子が舞う「獅子舞フェスタ」 (香川県三木町)
- イルミネーション「光の祭典」 (高知県須崎市)
- こころのふるさと坂元棚田 (宮崎県日南市)

わがまちの旨いもん …… 8

- うまいうまい「雨竜米」 (北海道雨竜町)
- おったまげた特産品「こめ味噌」と「そば団子」 (福島県大玉村)
- もてぎ 棚田のお米 (栃木県茂木町)
- 古代米使用「山菜おこわ」 (新潟県紫雲寺町)
- 越前大野の地酒がうまい理由(わけ) (福井県大野市)
- 岐阜市のスローフード (岐阜県岐阜市)
- 特産品グループよしきりの会 (滋賀県安土町)
- いかなごフルセ (兵庫県明石市)
- 「トマト」あまくておいしいよ! (兵庫県揖保川町)
- 今が旬!波賀の自然薯 (兵庫県波賀町)
- 地域の新しい特産品「テンペ」 (岡山県岡山市)
- さつま (愛媛県宇和島市)
- “ジャガイモ”の町で生まれた「ジャガイモまんじゅう」 (長崎県愛野町)
- いきなり団子 (熊本県益城町)
- 菊池特産ヤーコン (熊本県菊池市)
- デコポン(正式名称:不知火) (熊本県不知火町)

私達、輝いています …… 13

- 女性だけの産直組合「松っちゃん市場販売組合」 (岩手県松尾村)
- 陽気に地産地消 ~陽気な母さんの店友の会~ (秋田県大館市)
- 私たち「味彩工房」で再スタートしました (茨城県北浦町)
- ~安全な野菜づくりを目指して~
1ターンの3人娘の「ベジ・工房」 (新潟県山北町)
- 安心・安全・無添加・減農薬にこだわる「えびす会」 (広島県湯来町)
- 農産加工グループ「みどり会」 (佐賀県白石町)
- 加工グループ「メーカーハウス・マキの里」 (佐賀県北方町)
- 生月山田農産加工グループ「さつき会」 (長崎県生月町)
- 米粉を使ったパン作りに奮闘 (宮崎県小林市)
- 女性加工グループ「こぼるの里」 (宮崎県日之影町)

交流・連携通信 …… 16

- 飛騨市・白川郷観光協会(合同)交流講演会 (岐阜県飛騨市)
- 元気なおばあちゃん達は知恵袋 (広島県湯来町)
- 三谷いしがき棚田オーナー制度 (山口県徳地町)

Let's 農業 …… 17

- 石の上にも3年。奥が深いからこそキュウリに賭けてみたい (佐賀県久保田町)

アンテナショップ情報 …… 17

- 矢巾町特産品展示販売コーナー (岩手県矢巾町)
- あぐりショップ「四万十」 (高知県大正町)

わがまちのユニーク施策 …… 18

- 都市農村交流事業「原町市サバイバル探検ツアー」の開催 (福島県原町市)
- 全町農業公園構想 (愛知県大口町)
- 乗合タクシーを活用したルート可変式のコミュニティタクシー (滋賀県米原町)
- あおばな振興事業 (滋賀県草津市)
- 「高松産ごじまん品」をごじまんキャラでPR (香川県高松市)
- 四万十大正「あゆまつり」 (高知県大正町)
- リバーパーク「鯨の学校」 (熊本県嘉島町)

イベント情報 …… 20

- 平成16年10月から平成16年12月までの期間に全国各地で開催が予定されているイベントの情報

表紙の写真

寒晒し(かんざらし)そばまつり

福島県山都町

その昔、将軍家にも献上されたと言われる寒晒しそば。山都の澄んだ水と風に晒(さら)され、より一層旨味が増した幻のそばを味わうことができます。写真は、寒中、白装束に身を包み、身を清めた男たちが、冷たく澄んだ川に玄そばを浸している様子です。ぜひご賞味下さい。

- 開催日: 3月20日(日)・21日(月)
- 開催場所: 山都町体育館
- お問い合わせ先: 山都町観光協会 TEL: 0241-38-3830

このコーナーでは、全国で唯一のもの、自称日本一のもの、ぜひ知ってもらいたい活動や人等市町村からの自慢情報を紹介いたします。

田人おふくろの宿

福島県いわき市

田人おふくろの宿は、恵まれた自然環境を生かした、都市住民との交流等の場であり、活力ある地域づくりのための地域交流施設です。

樹齢100年以上の地元材の丸太など木材をふんだんに使用し、木の温かみと潤いを持たせ、周辺の自然環境との調和をはかっています。

- 所在地：福島県いわき市田人町田人字江尻71番地
- 構造：木造2階建
- 客室：和室（8畳6室、12畳2室）
- 施設：レストラン、バーベキューハウス、テニスコート（2面）
屋内運動場
- その他：読売新聞社の遊歩100選に選ばれ、日本ウォーキング協会公認コースになっている「四時川溪谷里山コース」の起点となっています。
- 問合せ：田人おふくろの宿（TEL：0246-68-3321）

<http://www16.ocn.ne.jp/~ofukuro/>



花が好きです「町の花 りんどうくらぶ」

千葉県栄町



平成15年4月1日に、町の花「りんどう」、四季の花「パンジー・ポピー」が制定されました。町の花を制定したメンバーで、町の花の活用について、市民レベルでの活動を続けるために、「町の花 りんどうくらぶ」を結成し、平成16年4月から新たに活動しています。

今までの活動としては、公共用地内に花壇を三箇所造り、「りんどう・ポピー」を植えました。現在は、「秋咲きのりんどう」の育苗を中心に、「地生のりんどう」の保護活動、「りんどう」普及活動の一環として、イラスト・写真の募集や頒布会などの活動を行っています。

「自分たちの住む町に関心を持ってもらう」ため、花を植える緑化・美化活動を行い、心が潤い、町が潤い、豊かさを感じ、ごみを

捨てにくい環境づくりや啓発になるのではと活動を続けています。

みなさん、緑豊かな栄町をぜひ訪れてみては、いかがでしょうか。

農家と地域住民の交流を！！「かつめま朝市会」

山梨県勝沼町

かつめま朝市会は、住民の有志が「農家と地域住民の交流・直接販売による生き甲斐づくり」の場として、平成15年4月に立ち上げ、名前のとおり「朝市」を月1回開催したり、町のイベントなどにも協力しています。

当初はテントひとつで始まった朝市でしたが、地道なPR活動など関係者の努力で、今では会以外の出店も増え、20もの店が並び、勝沼町の「名物」のひとつになりつつあります。ぶどう・ワインで知られる勝沼町ですが、出店は、野菜・コンニャク・アクセサリ・木工品・花・干物など多彩で、回を追うごとに賑やかさを増しています。行政はホームページなどで開催のPRに協力するだけで、朝市は独自で運営され、一般の方の出店も随時受け付けられています。地産地消を進めるだけでなく勝沼の良さを伝えるオリジナルグッズの製作・販売にも積極的に取り組み始めています。また、社会福祉協議会に売上の一部を寄付するなど社会貢献活動も続けています。<http://haj.web.infoseek.co.jp/>



幻の赤かぶ復活！

長野県三岳村



三岳村には、絶滅したと言われた「三岳黒瀬かぶ」という赤かぶの在来種があります。

絶滅したと言われた理由は、名古屋市東方の丘陵地帯と知多半島の乏水地域に対し、生活水を確保するために造られた愛知用水の水源確保のために、三岳黒瀬かぶの栽培地であった旧黒瀬地区に牧尾ダムが建設され、昭和33年に全戸が移住したためです。当時の住民の大半は、余儀なく全国各地へ移住しましたが、1戸が村内へ移住しました。その村内へ移住した生産者は、約40年間他のかぶと交配しないよう採種に注意し、形質を維持してきました。

そこで、この貴重な三岳黒瀬かぶを復活させ、地域活性化へ結び付けようと、この生産者とこまくさの会（会員10名、会長西尾礼子氏）が

協力を図り、生産拡大への取り組みが始まりました。その結果、現在1haまで面積が拡大し、特産品となりつつあります。

なお、赤かぶ漬け等の加工品は道の駅三岳内にある直売所で11月上旬から販売します。

新発田市観光ガイドボランティア

新潟県新発田市

新発田市のシンボルである新発田城をより多くの見学者に深く学んで頂きたいという思いから、発足したのが新発田市観光ガイドボランティア協会です。現在、会員は40名おり、新発田城の表門に9:00~16:00までほぼ毎日常駐しています。新発田城にお越しの際にお声をかけていただければ、無料で説明させていただきます。市外からの観光客にも大変好評です。

総合保健福祉センター「ほっとサロン」が完成しました

岐阜県福岡町



平成15年7月より建設を進めてきました「福岡町総合保健福祉センター」がようやく完成致しました。

全国的に少子高齢化社会、地域の過疎、家庭環境の変化など高齢者の方をとりまく社会環境も複雑になっています。そのような中、町民の皆さんが心身共に健康で生き生きとした生活が送れることを願い「総合保健福祉センター」を建設しました。平成15年8月から進めた温泉掘削により、温泉を活用した施設となっています。

この施設は、福祉センターと保健センターの他、健康増進施設として入浴施設と水中運動ができる運動浴槽（浴槽の深水を自由に調整できる可動式）を併設し、保健・福祉の拠点と位置づけ、町民の健康づくりと福祉の

向上を目指しています。水中運動教室は非常に人気があり、多くの方々に参加して頂いています。

また、温泉浴槽もあり、子供からお年寄りまで幅広い年齢の方々に利用され、地域の交流の場となっています。

交通手段のない方にも利用していただけるように、コミュニティバスを運行するなどお年寄りの方にも気軽にお越し頂いています。<http://www.town.fukuoka.gifu.jp/>

平湯大滝公園がオープンしました

岐阜県上宝村

8月7日、標高1,350mの奥飛騨温泉郷平湯温泉に体験・滞在型の観光施設「平湯大滝公園」がオープンしました。

公園のコンセプトは「作る・食べる・癒す」。日本の滝百選にもなっている名瀑(めいばく)「平湯大滝」に隣接する広さ4haの園内には、敷地内の井戸から汲み上げた天然温泉を使い一度に100人が入れる足湯をはじめ、パンやジャムなどの手作り体験が楽しめる体験教室、地元産の新鮮野菜が並ぶ青空市場や特産品販売所、奥飛騨の自然や文化・歴史を映像で紹介する映像ホール、築100年の旧家の中で作りたてのそばを味わえるそば道場など様々な施設が整備されています。雨天時や降雪期でも通年にわたり、訪れた人が四季折々の奥飛騨温泉郷の魅力を堪能しながらゆったりとした時間を過ごして頂ける観光拠点施設です。



● 開園：年中無休 午前9時から午後6時まで（季節により変更あり）

● 入場料：無料

● 駐車料：（環境整備協力金）1日1台当たり 普通車500円、大型2,000円、単車300円

● 問合せ：平湯大滝公園 TEL：0578-9-1250

清流長良川を守るために！「長良川環境レンジャー」

岐阜県岐阜市

岐阜市を流れる清流長良川の環境保全と河川利用者のマナー向上を呼びかけるため、行政との協働によるボランティア団体として、平成10年5月に約40名の会員で「長良川環境レンジャー」がスタートしました。主な活動は、河原の環境美化・啓発と近隣小学校への「出前講座」と呼ばれる子供達への教育活動でしたが、平成12年9月にはNPO法人としての認証を受けて自立し、流域一斉環境調査に着手するなど活動領域も広がって、会員も現在は120名を超えました。

今年は、これまでの単なるお願いの啓発から1歩踏み出した啓発活動を行いました。バーベキューで賑わう8月をマナーアップキャンペーンとして、河原に横断幕とレンジャーテントを設営してアピールするとともに、お楽しみ中のパーティーを逐一訪問してキャッチフレーズ入りのゴミ袋を手渡し、併せてアンケートも実施するなどして河原利用者との対話を行い、予想以上に大きな収穫を得ました。また、20時過ぎから始まるパーティーもあるため「ふくろう隊」を編成して夜間の啓発活動も試行しましたが、こちらはリスクもあり今後の課題となりました。



地域住民のパワーを結集「なんび青空市場」

滋賀県日野町



地域住民の生きがいとなる特色と活力のあるまちづくりを目指し、「なんび青空市場」がオープンしました。日野菜の産地として「日野菜プロジェクト」に一生懸命取り組む地元の南比都佐小学校の生徒の姿に、地域の大人達が奮起し、地域の活性化と交流の場として「なんび青空市場」を立ち上げました。

昭和の合併前の南比都佐村を地域とした取り組みで、その地区を「なんび（南比）」と呼んでいるために、「なんび青空市場」と命名しました。立ち上げまでには、週に1回以上の会議を持ち、施設の整備も週1回会員自らの手で行いました。

「地域内で生産する農産物は地域で消費する」「安全・新鮮な自家用生産物を安価で提供する」「日野菜（特産品）の生産振興と販売促進」をテーマに、会員みんなが無理をせず、できる範囲

で取り組んでいます。「年間を通しての品物の確保という課題はあるが、感謝デーのような催し物もできれば」と新たな企画も考えています。今ではリピーターもでき、開店と同時に行列のできる朝市です。

古代のロマンあふれる大中遺跡

兵庫県播磨町

大中遺跡は、弥生時代中期から古墳時代中期にかけての代表的な遺跡で、約44,000㎡の範囲に多くの住居跡が残されています。そして、ここからさまざまな用途や機能に応じた土器や鉄器、砥石などとともに、中国と交流のあったことを証明してくれる分割鏡が出土しています。

これらの出土品や住居跡は稲作農業がようやく根づいて生活が安定し、階級の文化がはじまり、古代国家が形づくられようとする時代の社会や暮らしの様子を知る上で非常に重要なものです。

国指定史跡である大中遺跡には、茅葺の住居が復元されており、中に入ると冷んやりとした空気が漂い、昔の台所を見学するとまさに古代のロマンがいっぱいです。JR土山駅から大中遺跡まで続く1.3kmの緑道「であいの道」には、120種類2万5千本の花木が植えられ、四季折々の花が目を楽しませてくれます。隣接地は県立考古博物館（仮称）の建設地に決まり、今後、歴史体験学習の拠点が形成されます。

<http://homepage2.nifty.com./h-oonaka/>



マイスター工房八千代

兵庫県八千代町



「田舎のコンビニ」と呼ばれている、マイスター工房八千代。

この施設の加工部門では、椎茸・豆腐など、特産品の数々や総菜料理・菓子類を開発し、販売しています。地元の女性スタッフが、特産開発研究グループとして20数年培ってきた技術を利用し、「地元で収穫されたものを材料に、付加価値を高めた産品しか売らない」というこだわりのもとでできた料理は、懐かしい美味しさ。特に、巻き寿司は朝から行列ができるほどの人気商品です。

また、カルチャー部門は、訪れる人々の憩いの場になっています。喫茶ルームはこだわりの料理にいらたてのコーヒーが自慢です。メニューもたくさんあり、旬の食材が盛りだくさん。エステティックサロンは、女性エステやマッサージで、心も体もリラックス。土、日曜日の予約も可能です。

広がる山々、清らかなせせらぎ - 豊かな自然と心温かい人々があなたを待っています。

<http://www.town.yachiyo.hyogo.jp/meister/>

インターネットで和歌山産品をお買い物「ふるさと和歌山わいわい市場」

和歌山県

「ふるさと和歌山わいわい市」(<http://wiwi.co.jp/ichiba>)は、和歌山県自慢の特産品や商品の情報を全国に発信し、販路拡大、県内生産・製造者のIT化推進を図るため、平成13年10月に開設したインターネットショッピングサイトです。

現在出店店舗150、平成15年度売上は2,000万円以上で、これは都道府県が運営するサイトでは最大級の規模を誇ります。取扱商品は、紀州の梅干、みかん、柿、もも、南高梅などのフルーツから熊野牛、海産物、和歌山ラーメン、紀州備長炭、紀州漆器まで約1,100アイテム。和歌山の「ほんまもん」を和歌山の生産者から全国にお届けします！

ただ今、わいわい市場では、お歳暮キャンペーンを12月25日まで実施中！！お歳暮ギフトとして78商品をご用意しました。期間中は送料無料、10%以上割引、特産品のプレゼントなどお得です。お得なこの時期に<http://wiwi.co.jp/ichiba/>にアクセスを！！



歴史の森の三本杉

山口県徳地町

本町は山口県のほぼ中央に位置し、人口約8,500人、総面積290.35Km²、面積の約89%を山林が占めています。

町の北部には、毛利藩有の御立山の流れを受けた滑(なめら)国有林が存在していますが、この中に、この歴史とともに生長した「三本の杉」が寄り添うように存在しています。一番大きいもので樹高46m、幹周りは5.1mあり、平成12年11月には林野庁が指定する「森の巨人たち100選」に山口県で唯一選ばれました。

この周辺には、ブナの天然林や貴重な植物を見ることのできる滑の森や標高900m前後で初心者でも比較的登りやすい山の飯ヶ岳や雀谷山、ケビン棟を備え宿泊に便利な大原湖キャンプ場などがあり、スローライフを楽しみたい方にぜひおすすめします。

<http://www.tokuji.yamaguchi.jp>

日本最大級!!大獅子が舞う「獅子舞フェスタ」

香川県三木町

三木町は獅子舞の盛んな地域で、町内には日本最大のスケールを誇る大獅子3頭(10~20m)や大小多数の獅子舞が存在しています。

そこに着眼した町民全体参加のイベントが「獅子舞フェスタ」です。大獅子3頭を筆頭に、町内6神社の小獅子・夫婦獅子・子供獅子など60頭余りが一堂に会し、昔ながらの鉦(かね)や太鼓のリズムにシンセサイザーの幻想的な響きが重なり、天に舞い地に踊るように伝統の舞を華やかに披露します。会場狭しと繰り広げられるその姿は壮観そのもの、観衆を興奮のつぼに誘います。毎年ゲストとして、国内外の獅子を招聘(しょうへい)。三木町の祭りの枠を超え、広く瀬戸内の一大イベントとして定着しています。<http://www.town.miki.lg.jp>



イルミネーション「光の祭典」

高知県須崎市



須崎市は、高知県のほぼ中央に位置し、南に太平洋、背後に四国山脈を擁する、リアス式海岸が生んだ天然の良港として栄えてきました。そんな須崎市の中心部にあり、市民の憩いの場として親しまれている川端シンボルロードにおいて、2年前から「シンボルロード in 冬季イルミネーション祭り」が行われています。

市民が力を合わせて装飾した並木の木々1本1本が、幻想的な光の空間を創出します。12月末のクリスマスイベントでは、名物の鍋焼きラーメンをはじめたくさんの出店が並び、また、市内商店街の参加を得て「歳末大売出し」なども行われます。

このように、須崎市ではイルミネーションを通して、明るく元気なまちづくりを目指しています。今年は11月28日に点灯し、約1ヶ

月間に5万個の電飾が須崎の街を彩ります。ぜひ一度、冬の須崎市へお越しください。

<http://www.city.susaki.kochi.jp/>

- お問い合わせ先：須崎市商工振興課 TEL：0889-42-5392
須崎商工会議所 TEL：0889-42-2575

こころのふるさと坂元棚田

宮崎県日南市

日本の棚田百選「坂元棚田」は、県南の最高峰である小松山(989m)の麓に位置し、南には男鈴山(783m)を眺むことができます。昭和初期に7年をかけて開田された一枚一枚の水田は、整然とした長方形であり、近代的なイメージですが、石積みは小さな石と大きな石を割って積み上げられ荒削りで素朴なあたたかみがある棚田です。

馬耕を前提としており先人達が試行錯誤して築いた苦労の歴史が、石積みには刻まれています。そして、棚田の色合いは、春にレンゲの赤紫色を散りばめた若緑、夏の稲穂の深緑、秋の豊穡の黄金色と四季を通じて実に見事に変化します。この美しい風景を後世に残す



ため、棚田保全活動やグリーンツーリズムに積極的に取り組み、多くの人々に農業と自然の大切さを伝えていきます。

なお、平成18年秋に当地にて「全国棚田サミット」の開催が決定されています。



このコーナーでは、地域の特産物や名物料理など「食」に関する情報を紹介いたします。



うまいまい「雨竜米」

北海道雨竜町

日本に居ながら世界各国の料理が食べられる今の時代。でもやっぱり最後に行きつくところは美味しいご飯！日本が世界に誇るうまい米なのです。そのうまい米にも色々ありますが、その中でも雨竜町産ほしのゆめ100%の「雨竜米」を推薦します。

「雨竜米」は栽培方法にも大変こだわっていて、有機質肥料を使用、農薬を減らすなど、体にやさしい米作りを基本として栽培されています。また、お米の保管方法にもこだわりをもっています。雨竜米はモミの状態です。冬の冷気を利用し、マイナス温度で保管しております。このことを超低温貯蔵といい、こうすることにより、いつまでも新米の味を保てる魔法の貯蔵方法なのです。精米は週2回行い、新鮮な雨竜米を産地から直送します。みなさんも毎日食べる「米」にこだわってみませんか？

価格は白米10kg 4,500円、白米5kg 2,300円(いずれも送料・消費税込)で玄米も取り扱っています。

- お問い合わせ先：JAきたそらち雨竜支所内 雨竜米事務局
TEL：0120-772-334

おったまげた特産品「こめ味噌」と「そば団子」

福島県大玉村

村の地域資源を利用した特産品を作ろう・・・そんな思いから村商工会が実施した「地域資源開発事業」で生まれたのが、「こめ味噌(百笑味噌)」と「大玉村そば団子」です。

地元の主婦が発案した「こめ味噌」は、安達太良山の清流で育った村自慢のコシヒカリと村産の大豆を使用した、愛情たっぷりの無添加味噌です。750g入り1パック750円(税込)。

また「そば団子」は、同じく農家が食味にこだわり丹念に育てたコシヒカリと、村産のそば粉を使用した、職人手づくりの団子です。餡子・ずんだ・くるみの3種類の餡(あん)が味わえます。5本入り1パック420円(税込)。

村の生産物直売所などで販売しておりますので、ぜひご賞味ください。<http://www.f.do-fukushima.or.jp/ohtama/>

- お問い合わせ先：大玉村商工会 TEL：0243-48-3931
国分菓子店 TEL：0243-48-3214



もてぎ 棚田のお米

栃木県茂木町



中山間地である本町は、美しい棚田が各地に点在しています。傾斜があり、田の形もふぞろいである棚田は、機械化が図りにくく管理も大変です。生産効率が悪いので離農者も増えつつあります。

しかし、米作りに意欲を持ってもらうことを目的に、棚田で作った米という付加価値をつけ「もてぎ棚田のお米」を昨年から販売しました。平成15年産は約8,000kgを販売。棚田米は清らかな水、水もちの良い粘土質の土、昼夜の寒暖差が大きいことによって、おいしい米ができることから、消費者に好評で早々に完売しました。

手間をかけた棚田のお米の味は絶品です。米の風味と甘み、粘りが特徴ですので、ぜひ、ご賞味ください。また、今年度、本町の豊かな自然環境、農村風景、そしておいしいお米を

イメージした「茂木のお米」の名称を募集し、新たなブランド化につなげていく予定です。
<http://www.town.motegi.tochigi.jp/>

古代米使用「山菜おこわ」

新潟県紫雲寺町

町では、地元の食材を使った「山菜おこわ」を町食生活改善推進委員の協力を得て考案しました。地元小中学校や保育園の行事食として給食に提供しているほか、産業祭など各種イベントで販売し、町の新しい郷土料理として定着しつつあります。

ぜひ一度、味わってみてください。

● 材料

もち米	3合(カップ3杯)	舞茸	1袋
紫米	21g(大さじ2杯)	さやいんげん	飾り用
ごぼう	30g	醤油	大さじ2杯
椎茸(乾)	3枚	みりん	大さじ1/2
人参	50g	酒	大さじ1
竹の子	30g	塩	小さじ1/2
わらび	150g	だし汁	カップ1杯
薄あげ	1/2枚		

● つくり方

もち米と紫米を前日からよく洗い、浸水しておく。

ごぼう、しいたけ、にんじん、たけのこ、わらび、うすあげ、まいたけは千切りにし、だし汁と調味料で柔らかくなるまで煮る。

の米の水をよくきり、蒸す。浸水して出た色水を使って、うち水する。うち水をし、その上に具を置き、さらにうち水をし、ちょうどよい固さになるまで蒸す。<http://www.town.shiunji.niigata.jp>



紫米入り山菜おこわ

越前大野の地酒がうまい理由(わけ)

福井県大野市



く感じさせる要因になっています。

恵まれた自然環境や風情ある街なみ、これに培われた銘酒をぜひ堪能ください。

<http://www.h-onoya.co.jp/sub5.htm>

冬は雪深く、名水百選のひとつに選ばれている「御清水」など豊富な地下水がある大野市には、おいしい地酒がたくさんあります。

日本百名山の荒島岳など1,000mを超える白山山系の山々に囲まれ、山紫水明、風光明媚な盆地を形成しており、酒米の産地としても知られています。大野市周辺(奥越地方)は酒造好適地である五百万石の産地で、酒米の生産高は全国でもトップクラスです。このように酒造りの条件が揃っており、市内には4軒の造り酒屋があります。

大野市は、戦国時代に碁盤の目のような街なみが築かれ、400年以上過ぎた今も、当時の面影を色濃く残し「北陸の小京都」とも呼ばれており、風情あふれる街なみも、相俟(あいま)って地酒をおいし

岐阜市のスローフード

岐阜県岐阜市

本市の東西を貫流する長良川は、地域に様々な恵みをもたらしてくれていますが、その一つに土壌があります。水はけがよく、均質な砂質土壌は、優れた作土となり、岐阜市園芸特産品の産地を創り出しています。

その特産品は、「だいこん」、「えだまめ」、「ほうれんそう」の三種ですが、まさに、長良川産(三)兄弟といえるものです。この特産品の販売促進という、農業政策と効率性やスピードが優先されがちな現代社会に警鐘を鳴らすスローフード運動の方針を組み合わせることで、政策効果とともに、より「人間らしい生活」の送れる街につながることを期待して、特産品各々を主材にした料理レシピを作成しました。

レシピの内容は、和・洋・中それぞれの料理ジャンル毎に気鋭の料理家を招き、「離乳食」、「普通食」、「高齢者用」を用意したもので、家族等で語り合いながら食する「心豊かな時間」を大切にしたいという思いから、「わが家のだんらんレシピ」と名づけました。今では、生産者が主要市場で行う販売促進活動に使用されるとともに、各関係機関によって料理教室等の地域活動にも活用されています。<http://www.city.gifu.gifu.jp/>

特産品グループよしきりの会

滋賀県安土町



平成13年度に安土町商工会女性部の特産品グループ「よしきりの会」が結成されました。

安土町は全国には例がない広いヨシ原が広がる西の湖があります。そのヨシは浄化作用があり水辺の環境を守っています。そのヨシを利用した特産品の研究をすすめてきました。ヨシの新芽を冷凍保存すると一年中その緑の葉を保つことが出来ます。ヨシちまき・ヨシだんご・ヨシおこわの皮の部分に利用し、緑とヨシの風味を残しています。

また、今年、試行錯誤を重ねた結果、緑茶と変わらない美しい緑色のヨシの新芽の粉末ができあがりました。ヨシが抹茶状に完成したことによりお茶だけでなく粉末を利用したヨシだんご・ヨシゼリーと幅広い商品開発など、他の食材として活用できないか検討を重ねています。

よしきりの会では西の湖の景観を守りながら積極的にまちのPR、活性化の一助となるよう安土を愛し、安土ブランドのために地道な活動を続けていきたいと思っております。<http://www.azuchi.org>

いかなごフルセ

兵庫県明石市

ここ数年で、いかなごの赤ちゃんである「新子(しんこ)」を使った料理の「くぎ煮」が全国的に有名になりました。その一方で、魚の町「明石」の隠れた人気者が、いかなごの成魚である「フルセ」です。「どの魚が一番好き？」と漁師に聞くと、フルセを一番にあげる人が多く、漁師達は「明石の魚はフルセを食べて、美味しくなる」ということを知っているのです。



明石では「春告魚(はるつげうお)」として毎年3月には丸々と肥え、水揚げされています。湯がいて良し、焼いて良し、炊いて良し、姿のまま骨ごと食べられるフルセは、味はもちろん、私達の健康のためにも食べない手はありませんね。明石の魚達のようにフルセを食べて春を呼ぶ元気ももらいませんか？<http://www.akashi-cci.or.jp/tmo/>

「トマト」あまくておいしいよ！

兵庫県揖保川町



揖保川町でのトマト栽培は、昭和初期までさかのぼります。温暖な瀬戸内気候と清流揖保川が運んできた清水といった自然の恵みがマッチし、また生産者の方のきめ細やかな栽培管理により、甘くておいしい「揖保川トマト」ができあがります。ほぼ1年中提供することができますが、特に11月から5月頃までのトマトの味は格別です。

年々人気も高まってきており、リピーターも多い「揖保川トマト」をぜひ一度ご賞味ください。<http://www.town.ibogawa.hyogo.jp/>

今が旬！波賀の自然薯

兵庫県波賀町

波賀町の特産品の一つに「自然薯」があります。自然薯は、漢方では「山薬」と呼ばれ、良質の植物性タンパク質、脂肪、炭水化物を含み、消化がよく虚弱体質の人にも自然に力がつくと、古くから大切にされてきました。

道の駅「みなみ波賀」にあるレストラン「楓の里」では、自然薯のとろろやアマゴの唐揚げ、手作りこんにゃくの田楽など、波賀の味覚満載の「田舎定食」をはじめ、「麦とろ定食」や「自然薯うどん」など、自然薯を使ったいろいろな料理をお出ししています。ぜひ一度、波賀町の自然薯をご賞味ください。

<http://www.jinenjyo.com/minamihaga/>



地域の新しい特産品「テンペ」

岡山県岡山市

煮た大豆をテンペ菌で発酵させたインドネシアの伝統的無塩発酵食品「テンペ」。JA岡山と同女性部岡山支部が、地場産の転作大豆を活用して地域の新しい特産品にしようと、平成14年1月から加工に取り組んでいます。

形は大豆一粒一粒が白い菌糸で固まったケーキ状で、風味はほんのり甘いクりに似ており、「大豆のカマンベールチーズ」とも呼ばれています。納豆のような糸引きや強いにおいがなく、スライスして料理することができます。良質の植物性タンパク質や生活習慣病の予防に役立つリノール酸、ビタミンB群、食物繊維、レシチン、サポニン、イソフラボン等を豊富に含んでおり、栄養的にも大変優れています。



テンペはあまり馴染みのない食品ですが、栄養価も高いことから多くの人に広めたいと思い、デモカード式の料理集「テンペレシピ」を作成しました。「炒りテンペと小松菜の炊き込みご飯」「テンペ入りパンプキンスープ」「テンペ入りケーキ」など28種類のテンペを用いた料理と調理方法を紹介し、普及・PRに努めています。

また、このテンペは、JA岡山農産物直売所「はなやか南店」、味彩館Aコープ西大寺・たかまつ、Aコープ津高・加茂川、同女性部岡山支部が岡山市今の農産加工施設で開催する青空朝市（毎月第1土曜日、午前9時から）で販売しています。遠方にお住まいの方には10個以上からの宅配も承っていますので、ぜひ一度、ご賞味ください。

● お問い合わせ先：JA岡山中央営農生活センター TEL：086-296-0612

さつま

愛媛県宇和島市



焼き魚と麦味噌をすり合わせた汁を、麦飯にぶっかけた南予一般の家庭料理で、もともと漁師が船上で魚入りの濃厚な味噌汁を麦飯にかけ、食べていたのが始まりといわれています。見た目には素朴ですが、二度三度と食べれば忘れられない味となる奥の深い逸品です。

● 材料（3～4人前）

味噌（麦味噌・白味噌）200g～250g
 白身魚（白身でなくても新鮮であればよい）味噌10に対し4～5の割合
 こんにゃく 1/2丁 みかんの皮 少々
 砂糖 少々 葱 少々 醤油 少々

白身の魚を焼いて、熱いうちに身をほぐす。

味噌と混ぜて、すり鉢でよくすってあぶる。（炭火かガスの火で、きつね色になるまで2、3度繰り返す。）

出し汁は、身をほぐしたあとの骨でとる。

出し汁が冷えたら、に入れすりのばし、とろりとさせ味を調える。

こんにゃく（細かく短冊切り）の味付けをする。

温かい麦ご飯に のさつまをかけ、好みに応じて葱のみじん切り、みかんの皮のみじん切り、こんにゃくをのせて食べる。<http://www.uwajima.org/oishii/index2.html>

「ジャガイモ」の町で生まれた「ジャガイモまんじゅう」

長崎県愛野町

愛野町は、島原半島の玄関口に位置する県の中央部にあり、丘陵な台地上の畑には、隅々に至るところまで、春と秋の年2回、ジャガイモの作付けが行われています。

ジャガイモが日本に渡来したのは今から400年前のことで、長崎の「出島」から日本中に広がったのが始まりと言われ、愛野町でも、昭和26年頃から栽培が始まり、現在では、栽培面積317ha、生産量8,720tと町の特産品となっています。

地元ではJA女性部が中心となって、ジャガイモを使った加工品の開発に取り組んでおり、ジャガイモうどんやお好み焼き、ポテトのパンなど多くのものが商品化されています。なかでも平成9年に商品化された「ジャガイモまんじゅう」は、おいしいと好評であり、Aコープにて販売されています。8月には町内の小学生を対象にした「ジャガイモまんじゅう」の作り方講習会を開催し、これから学校給食での利用に向けて、部員一同消費拡大に頑張っています。<http://www.town.aino.nagasaki.jp>



いきなり団子

熊本県益城町



益城町の名産「いきなり団子」は、地元でとれたサツマイモ（甘藷）をベースに、小麦粉を練った皮と小豆あんがマッチングされることにより、本来の甘みが十分に引き出だされ、口の中で三つの味が広がります。

「いきなり」という言葉は熊本の方言で、「簡単」という意味をさしますが、「いきなり団子」は文字通り簡単に作られるということで、昔はおやつとして庶民に親しまれていました。今では、工夫をこらし数多くの種類が作られています。

おふくろの作った昔なつかしの味を是非一度ご賞味ください。

菊池特産ヤーコン

熊本県菊池市

ヤーコンとは、南米アンデス生まれの健康野菜です。見かけはさつまいもに似ていますが、実はキク科の植物で水分以外は主にフラクオリゴ糖と食物繊維でできています。フラクオリゴ糖は腸内のビフィズス菌の栄養となり、おなかの調子を整える働きをします。

中世南北朝時代、菊池一族で栄えた熊本県菊池市では平成12年度からこのヤーコンの栽培にとりくみ、今では学校給食のメニューにもなるほどの地元で人気の野菜です。「サクサク」とした食感と、わずかな甘みが魅力で、サラダやきんぴら、天ぷら、炒め物などレシピも豊富です。

この秋からは、地元のお菓子屋さんらがヤーコンを使った創作菓子に取組み、それぞれを食べ歩きする「ヤーコン味めぐり」も開催中です。菊池の豊かな大地で育てられたヤーコンがロールケーキや肉まんなどに大変身して登場します。

ヤーコンは10月から収穫が始まる冬場限定の作物です。インターネット販売も受け付けていますので、ぜひこの機会にご賞味下さい。（写真は、ヤーコンとヤーコン肉まんです。）<http://www.yokayoka.co.jp>



デコポン（正式名称：不知火）

熊本県不知火町



不知火海上に現れる神秘の火「不知火」で有名な不知火町は、温暖な気候を利用し柑橘類の栽培が盛んであり、デコポン発祥の地です。

不知火町特産のデコポンは、甘さと食感の優れた「ポンカン」と香り豊かな「清美」の柑橘をかけあわせて生まれた品種です。へた（成り口）の部分に凸（デコ）のあるユニークな形が特徴で、とても甘く香りがよく、手を汚さずに袋ごと食べられます。また、ビタミンや食物繊維が多く含まれており、体によいと評判で、ご贈答用品としても人気があります。

宇土半島の斜面で、不知火海の温暖な潮風と太陽の恵みをいっぱいを受けた「デコポン」を是非ご賞味下さい。

<http://www.shiranuhi-spa.co.jp/>

- 取扱時期：ハウス栽培物：12～2月
露地物：3～5月

このコーナーでは、農村で活躍している女性(グループ)の取り組みについて紹介いたします。

女性だけの産直組合「松っちゃん市場販売組合」

岩手県松尾村

平成8年4月、「地元の人や観光客に安全・安心な農産物を提供しよう!」「自分の預金口座を持とう!」と農家の女性20人で産直組合を設立しました。

現在の組合員数は47人で、産直活動のほか、手打ちそば体験交流やグリーン・ツーリズムの受入れ、学校給食へ食材の提供をするなど幅広く活動しています。その活動が認められ、全国農山漁村女性チャレンジ活動表彰において優秀賞を受賞しました。

6月には、持ち前の技と地元食材を活かして、産直施設内にレストランもオープンしました。村特産のほろほろ鳥のガラスープを使った、ほろほろ鳥の肉入りそば(630円)や、土日祝日限定の松尾産そば粉100%の手打ちそば(570円)が人気です。

これからは、健康な土で作った安心で安全な農産物を消費者に提供するとともに、地域の子どもたちへ農業と食の大切さを教えていきたいと考えています。

- 松尾村寄木2-512 TEL/FAX:0195-78-3002
午前9時~午後6時(11月から4月は午後5時まで)



陽気に地産地消 ~陽気な母さんの店友の会~

秋田県大館市



「陽気な母さんの店」は、農家の母さん88人で運営する農産物直売所。消費者の視点に立った安心・安全な農産物を提供し、地産地消を多くの人に理解してもらうため、3年前にオープンしました。

会員が育てた新鮮な農産物はもちろんのこと、それらを加工した商品も人気があり、特に、冬場の商品不足を解消するために大型野菜乾燥機を導入して作った切り干し大根や干し椎茸、リンゴチップスが好評です。

また、交流体験を通じて安全・安心な本物の味を伝えるために、農業・郷土料理体験も行っています。首都圏からの修学旅行生や家族連れなどからも申込みが多く、管内の小学校への出張体験も行っています。

この度、会の取り組みが評価され、全国農業大賞生活部門優秀賞を受賞しました。

そのほか、学校給食・福祉施設・病院等への食材供給やインターネットを活用した野菜宅配便など、陽気な母さん達のアイデアで地産地消の輪はどんどん大きくなっています。<http://www.sastage.com/yoki.htm>

私たち「味彩工房」で再スタートしました

茨城県北浦町

「味彩工房」は、地元で収穫される豊富な野菜を存分に使用し、新たな商品づくりに励む14名の加工グループです。メンバーは農業を営むお母さん達と、菓子製造業者、漬物業者、商工会職員で構成されています。

地元野菜にこだわりを持ち数多くの商品を試作してきました。現在、販売に至っているものは、野菜の粉末をうどんの中に練りこんだ、5種類(セリ、みつば、しそ、よもぎ、れんこん)の乾麺で、腰の強い、歯ごたえのある食感が人気です。贈答用などにも多く使われており、近隣の道の駅や地元の健康施設等でも販売しています。

また、9月には、念願のパン加工所を設置し、野菜の香りを味わうという意味から「味彩工房」と名付け、野菜や果物の特性を生かした商品づくりに再スタートを切りました。



～安全な野菜づくりを目指して～1ターン3人娘の「ベジ・工房」

新潟県山北町



豊かな自然の中で、農薬も化学肥料も使わない安全な野菜づくりを目指し今年から活動を始めた「ベジ・工房」。山北町の豊かな自然と、あたたかな人に惹かれ、昨年定住を決めた若い女性3人で運営しており、汗と泥にまみれて畑仕事に精を出す日々を送っています。

素朴な農業体験をとおして地域の人と交流を深める山北町の事業「週末百姓やってみ隊」で昨年初めて訪れ、わずか2回の参加で移住を決めた代表の武藤さんは「定住するきっかけは、ほんとに素晴らしい自然とあったかな人でした」と話していました。そして、そのころから有機・無農薬野菜づくりと販売を考えていたそうです。

今は「山北特産品インターネット直売～さんぽく便り～」のホームページを立ち上げ、インターネットによる野菜の販売を始めています。作付けしている35aの畑の管理と、ホームページの保守管理など大変なときもあるようです。

「野菜がお客様に届いて、喜びの声を聞くのがいちばんうれしい！これからも安全な野菜づくりにこだわって活動を続けたい！」と代表の武藤さんは熱く話してくれました。<http://park21.wakwak.com/~bezi/>

安心・安全・無添加・減農薬にこだわる「えびす会」

広島県湯来町

湯来町農事研究会「えびす会」は、減農薬と有機質に思い入れを持って野菜を育て、湯来町の味・ふるさとの味を大切にしたい加工品などを作っています。

グループのメンバーは女性5人。メンバーが作ったものはJ A広島市の店舗で自主販売するほか、毎月10日に広島市内の神社で開催される「十日市」で出店販売しています。十日市の世話役さんによると、わずか5人のメンバーですが、品揃えがよく、商品管理がしっかりしていると評判で、お客さんからは、新鮮で野菜本来の味がすると評価されています。

「自分の土地で自分が作る安心。農家でないと味わえない幸せを皆さんに味わっていただきたい」という思いがえびす会のこだわりです。「雨の日も風の日も、必ず十日市には出店して、私達の品物を待ってくださる方のために頑張ります」とのこと。

今後は、そば殻を利用してあく抜きをする、無添加のこんにゃく作りに挑戦するとのこと。もちろん、そばも自家製です。できあがりを楽しみます。



農産加工グループ「みどり会」

佐賀県白石町



「みどり会」は、昭和61年ごろから活動を始めた農産加工グループです。現在、会員は7名。平成12年からは加工所を設け、毎日当番制で愛情のこもった商品作りに取り組んでいます。

地元でとれた大豆を使った健康食品「しろいしテンペ」を使用して、おこわやまんじゅう、かりんとうなどを作って、しろいし特産物直売所で販売したり、注文を受けると、地元でとれた野菜をたっぷり使ったお弁当を作ったりしています。

しろいし特産物直売所の商品の中でも、同会の商品は人気のあるものばかり。中でも、テンペを使ったまんじゅうやかりんとうは大変好評で、店頭に並ぶとすぐに売り切れることもあります。

会員のみなさんは、「これからは手作りのお弁当をもっと広め、しろいしテンペを使った商品もたくさん開発していきたい」と意気込んでいます。将来は、地元でとれる新鮮な食材を使った食堂「母ちゃんレストラン(仮称)」を開きたいそうです。

加工グループ「メーキングハウス・マキの里」

佐賀県北方町

「メーキングハウス・マキの里」は、JA佐賀みどり北方支所女性部で活躍している22名で組織するグループです。農村ならではの懐かしい味を再現し、今では北方町の名物の一つになっています。

また、毎週火曜日と金曜日の2日間、夕方4時から6時までマキの里夕市が開かれます。夕市には、その日採れたばかりの新鮮な農産物が所狭しと並びます。直販ならではの格安の値段にお店は大賑わいです。店内には地元で採れた新鮮な野沢菜をふんだんに使った懐かしい味のおやき（高菜・きんぴら等もあり）、いも饅頭など地元素材が生きた味でいっぱいです。http://www.town.kitagata.saga.jp/03_hiroba/kitagatamon03.asp



- お問い合わせ先：JA佐賀みどり北方支所内メーキングハウス マキの里 杵島郡北方町大字大崎2129番地
TEL：0954-36-3500，FAX：0954-36-3509

生月山田農産加工グループ「さつき会」

長崎県生月町



山田農産加工グループ「さつき会」（22人）は、隠れキリシタンの里として有名な長崎県西北の島生月町で、昭和60年より加工活動に取り組んでいます。

生月町は古くは捕鯨基地であり、現在は遠洋漁業の基地のため、船の安全を願うことから、氏神様への信心は大変厚く、毎月氏神様へ団子をお供える風習が根強く残り、生月の食文化で団子はかかせません。

「さつき会」では、地元の原料を活かした団子を主体に味噌・漬物を加工し販売しています。

平成13年には、さつき会が働きかけた直売所が町内に開設されたのを機に、惣菜部会も若妻中心に結成し、地域の農水産物を使った惣菜・弁当が評判になっています。

平成15年度食アメニティ・コンテストでは、「里の豊かさをいかす女性起業活動」部門で農林水産大臣賞を受賞しました。今後は地元中学生に味噌や団子作りの体験学習を通して生月の食文化と食の大切さを伝えていきたいと考えています。<http://www.suisan.n-nourin.jp/oh/kakou/ikituki/ikituki.html> ,
<http://www.n-nourin.jp/ah/sesaku/nougyoukeieika/fukyuujyouhou/satsukikai.html>

米粉を使ったパン作りに奮闘

宮崎県小林市

地元の特産物販売所「四季彩館」に新たなメニューが登場。ここに勤める看板三人娘?!が米粉を使ったパン作りに挑んでいます。小麦粉アレルギーの方も食べることができ、モチモチしていて噛めば噛むほど甘くなると、お客様の評判も上々です。また、いろいろなイベントにも積極的に参加しており、地元の夏祭りでは米粉パンと鯉料理の異色な組み合わせで「鯉バーガー」なる商品の試食販売も行いました。

メンバーは「今後も、地域の顔である特産物販売所『四季彩館』をおおいに盛り上げ、地域の活性化に少しでも貢献できれば」と抱負を語ってくれました。これからも、無限のアイデアでいろいろなことに挑戦していただきたいと思っています。



女性加工グループ「こぼるの里」

宮崎県日之影町



北郷村との町境に位置する下小原地区。わずか12戸のこの小さな集落で、昨年、本町初の女性加工グループ「こぼるの里」が結成されました。

メンバー10名は、いずれも農業に従事する傍ら、地どれの食材を使った「惣菜」や「弁当」づくりに一緒に汗を流し、老人会での出品や注文に応じて販売するなど少しずつではありますが、着実にファンを増やしています。また、このほかに地区で開発された加工品「むかご飯」や「山菜おはぎ」、「猪肉うどん」などは、今後地区の新たな産業として定着する可能性が高く、将来が楽しみです。

持ち前のやる気とパワーで、これからも無限の可能性を求めていく女性加工グループ「こぼるの里」。女性の参画できる地域づくりのモデルとして、今日も活躍しています。

このコーナーでは、都市農村交流など地域間交流活動について紹介いたします。

飛騨市・白川郷観光協会（合同）交流講演会

岐阜県飛騨市

平成16年2月1日、旧吉城郡の古川町・河合村・宮川村・神岡町の4町村が合併し、「飛騨市」が誕生し、現在8ヶ月が経過しました。新生「飛騨市」では、これまでそれぞれの町村ごとの観光協会の上部組織として、3月に飛騨市観光協会を設立しました。

飛騨市の観光事業の発展につながる各種の事業の一つとして、近くて遠い村といわれている世界遺産を有する「白川村」との交流を計画しました。本年度9月27日（月）に東京大学大学院の西村幸夫教授と財団法人日本ナショナルトラスト事務局の米山事務局長をお招きし、講演会を開催しました。両地区の観光協会役員が30数名が集まり、世界の中の飛騨市・白川郷について、語っていただきました。

今後、両先生の話の基本として、益々交流が深まり、双方の地区が発展していくものと考えています。

元気なおばあちゃん達は知恵袋

広島県湯来町

広島市内から自動車ですら約1時間のところに位置する温泉のあるまち・湯来町の湯の山温泉の近くに、元気なおばあちゃん達のグループ「花草会（はなそうかい）」があります。「年を取ったからって、一人になったからって、家に閉じこもってはいはだめ！みんなで集まって話そうやあ...」ということで、平成8年8月にグループ名が「はなそうかい」になりました。

グループ発足当初は、みんなで休耕田を借りて、農作物や加工品を作り、青空市場などで販売するという活動をしていましたが、平成13年からは広島県の事業「やまなみ大学」に参加して、やまなみ大学の講師としての活動が加わりました。

おばあちゃん達が講義するのは、畑でできたものなどを使った季節ごとの田舎体験。春には「お花見編」と称してつくしやよもぎを使った料理、「夏休み編」ではしそジュースとしば餅、「秋の収穫編」では干し柿、干し大根作りなどを受講生に体験してもらい、知恵を伝授しています。中でも、こんにやく芋から手づくりする「こんにやく作り」はおばあちゃん達の十八番。今では「こんにやく作りを教えてください！」と女性グループや親子グループから直接申し込みがあるほか、おばあちゃん達がこんにやく作りを教えた地元の高校生たちが今度はこんにやく作りの指導者として、地元の小学生と交流するというように、だんだんと交流の輪が広がってきました。

今、おばあちゃん達は「お茶」作りに頑張っています。ちょっと見渡せば体に良いと言われる野草などが、湯来町にはたくさんあります。自分たちが作ったお茶を飲んで、ますます元気なおばあちゃん達。まだまだ、進化を続ける「花草会」です。



三谷いしがき棚田オーナー制度

山口県徳地町



山間部の急峻な石垣で築かれた棚田は、すばらしい景観をかもし出す一方で、担い手の高齢化と地形形状の問題による機械化の限界から耕作放棄地の広がりや集落の存続の危機さえ懸念される状況にあります。

本町三谷地区もそのような地域の一つですが、この状況を逆に利用し、農地の保全と都市と農村の交流を目的として、地元で組織する「いしがき棚田会」の運営による「棚田オーナー制度」を開設しています。

オーナーになるには、1a当たり32,000円をお願いするとともに、田植えから稲刈りまでの作業を年数回、いしがき棚田会と一緒にいきます。もちろん取れたお米はすべて持ち帰っていただきます。

今年で3年目となりますが、毎年県内外より申込者があり、リピーターも増えている状況です。今後は、この活動が大きく広く充実発展していくことを目指しています。

<http://www.tokuji.yamaguchi.jp>

このコーナーでは、農業を始めてみたいと思っている方へ向けての市町村等からの情報等を紹介しております。

石の上にも3年。奥が深いからこそキュウリに賭けてみたい

佐賀県久保田町

14年間勤めていた会社を昨年辞めて、自分へのチャレンジも込めて農業の道を選択し、キュウリ栽培を経験して1年の大西健一さん。

久保田町は、佐賀県をリードするキュウリ産地で、優れた技術と経営感覚をもった農家が多く、ベテラン農家の同級生（師匠）が「ここでやってみないか」と三百坪のハウスを提供してくれました。

作物作りは簡単にできると高を括っていましたが、とにかく奥が深く、人が基礎体力をつけるのと同じで、土づくりをしっかりすることが一番大事と話しています。また、子供が「お父さんのキュウリ」と言って口にしたときの喜びや、食材の大切さなどを話題として会話できることが、とても新鮮に感じられるそうです。

これからの目標は、父が亡くなり、母の懸命の頑張りで守られてきた農地で規模拡大を行うとともに、消費者から満足されるキュウリをつくること。また、作物と会話ができるようになりたい。向上心をもって「石の上にも3年」と熱く語られる一家の大黒柱です。



アンテナショップ情報

このコーナーでは、地域の特産物等が身近で購入できるアンテナショップやテナントの情報を紹介いたします。

矢巾町特産品展示販売コーナー

岩手県矢巾町



9月にオープンしたばかりの、矢巾町初となるアンテナショップです。山ブドウに霊芝を加えた「万年健」ジュース、町特産品のシイタケを使った「椎茸クッキー」「しいたけまん（饅頭）」、シイタケ・ハトムギエキス配合のりんごジュース「南昌さんさ」、地場産ナンブコムギを練りこんだ「さんさそば」、同じくナンブコムギを使い中国出身の李さんが開発した「李さんの中国月餅」など、矢巾町特産品の数々を取り揃えているほか、他市町村との物産交流も企画しておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。 <http://www.aruco.jp>

- お問い合わせ先：岩手県紫波郡矢巾町南矢幅7-425-3
ショッピングモール「アルコ」 TEL：019-697-1155
午前10時から午後8時まで（土曜日のみ午後9時まで）

あぐりショップ「四万十」

高知県大正町

高知市北本町にある、ホームセンターマルニ高知店の駐車場内にオープンした「アグリショップ四万十」では、四万十川流域の大正町の産物を販売しています。毎朝早く運び込まれる野菜などは、大正町の農家が丹精こめてつくった、新鮮・安心・安全な野菜です。最近では常連のお客様も増え、荷物が到着するのを待ちかねています。

イベント広場では、四季折々の特産品を持ち寄り、春は「山菜まつり」や秋には「収穫祭」、また「もちつき」のほか、「木工・わらぼうりづくり」等の体験教室も行っています。高知市内に訪れる際にはぜひお立ち寄りください。

高知市内の直販店の中では遠方からの出店ですので、閉店時間は午後3時となっており、そのため宅配は行っておりませんのでご了承ください。

- お問い合わせ先：高知県高知市北本町3-8-17 定休日：月曜日 TEL：088-884-1795



このコーナーでは、全国の市町村において、独自に取り組んでいる施策等を紹介しています。

都市農村交流事業「原町市サバイバル探検ツアー」の開催

福島県原町市



原町市では、今年度初めて原町市自立経営登録認定農家協議会との共催により都市農村交流事業「原町市サバイバル探検ツアー」を開催しました。

この企画は、食にまつわる様々なイベントを通じて、本市の良好な自然環境から生み出される農産物の魅力を都市消費者に理解していただき、本市農業の活性化を図ることを目的に開催したものです。

初日は、地元産小麦や大豆等を原料としたうどん打ち体験、豆腐作り体験、バター作り体験や良好な自然を満喫してもらう横川深谷への水汲みなどが、2日目は、農業用水堀での鮎のつかみ取りやジャガイモの収穫、認定農業者宅での農業体験等を行い、農業者との交流が行われました。

すべての企画が農業者の手作りで行なわれたため、企画終了後のアンケートには、「地域住民とのふれあいがあり大変良かった」「手作り感があって大変良かった」など大きな反響をいただき、来年への大きな励みになりました。

全町農業公園構想

愛知県大口町

平成12年4月1日に地方分権が制度としてなって以来、まちづくりは専らそこに住む者の工夫と責任で行わなければならないものとなりました。大口町のまちづくりの大切な柱の一つは、いまに伝えられた美しく豊かな農地を町の財産として大切に守り、それが持つ多様な機能を十分活用することであり、そこから第一歩を始めようと平成12年度から検討を続け、平成14年度に作成したものが全町農業公園構想です。

農地は、私達の生存にとって多くの大切な機能を持っています。全町農業公園構想は、農地の持つその様々な機能を環境、景観、交流、健康、教育の5つの言葉（5K）に集約し、現在実施している事業や立案過程の事業をこの5Kに結びつけることにより、農地の持つ多様な機能にあずかりながら、農業を活性化し、大口町の食料自給率を高めようとするものです。

具体的な取り組みとして、朝市、保育園の給食への食材納入、大口町産大豆100%使用の豆腐、生ごみ堆肥化、古代米の作付けなどが挙げられます。<http://www.town.oguchi.aichi.jp>

乗合タクシーを活用したルート可変式のコミュニティタクシー

滋賀県米原町



平成16年10月からスタートした米原町の「らくらくタクシー まいちゃん号」は地域内の交通を補完する乗合タクシーです。「デマンド方式」と呼ばれる完全予約制で、予約のあった便のみ車両が出勤し、運行実績に合わせて町がタクシー会社へ運行費用を補填します。また、従来の路線バスと異なり、予約状況に応じてルートが変動する「ピックアップ運行」というシステムをとっており、予約のあった停留所間のみを最短距離で結びます（近畿初のシステム）。

この特徴を活かし、運行エリア約4km四方に、集落内道路も含めた全91箇所もの停留所を設け（家から最大75m歩けば停留所！）、お年寄りにやさしい乗り物を実現しました。運行実現のきっかけは「らくらく夢交通実現のつどい」という懇話会からでした。住民と行政が地域課題を共有しながら、2年以上かけて理想の運行ルートを考えてきました。「まいちゃん号」は利用者本意に基づいた「オーダーメイド」の公共交通なのです。

<http://www.maihara.com>



あおばな振興事業

滋賀県草津市



草津市の花である「あおばな」は、つゆ草の変種で、古くから友禅染の下絵材料「青花紙」を作るため特産物として栽培されてきましたが、化学染料の登場や着物離れからその需要が低迷し、近年では栽培農家がわずかとなり、市の花としての存続が危ぶまれていました。

近年、この「あおばな」の調査・研究が進められ、この花に糖尿病の原因である血糖値の上昇を抑制する成分が含まれていることが発見されました。このことから、市では、これを活用した土産物の商品化や、食材としての可能性が見出せれば、減反農地も活用でき、地場産業の創出につながることで、また、健康に満ちた市民生活とまちづくりにも大きな期待がもてることから、あおばな産業振興事業として、研究・啓発に力を注いでいます。

すでに生産者や事業主らを中心とした「草津あおばな会」では、この「あおばな」を活用した、お茶や饅頭、パン、クッキーなど様々な商品が開発され、販売されています。<http://www.city.kusatsu.shiga.jp>

「高松産ごじまん品」をごじまんキャラでPR

香川県高松市



名前:イチゴ娘
性格:生まれながらのスター



名前:ハナちゃん
性格:いつか一花咲かせたいと思っている。



名前:Mr. アスパラ
性格:スリと背が高いニヒルな二枚目。



名前:びわぞう
性格:実はお尻からが剥きやすい。



名前:アレキさん
性格:ゴージャス&リッチ



名前:ピオー姉さん
性格:おちゃめさん。そこがかわいい。

(ごじまんキャラの一部)

高松市の農産物を皆さんに知っていただき、地産地消を推進するため、JA、市、県で構成される「高松市農産物ごじまん品推進協議会」が立ち上がりました(平成15年7月10日)。高松市産の特徴的な農産物「高松産ごじまん品」(19品目)にそれぞれイメージキャラクター(ごじまんキャラ)を設定し、PR、イベント、生産振興事業など様々な活動を開始しています。それぞれに性格まで設定された愛らしいごじまんキャラが人気です。

四万十大正「あゆまつり」

高知県大正町

緑豊かな山々と、清流四万十川の恵まれた地域資源、その中でも大正町の特産品である「鮎」をメインとした、住民主体による参加体験型事業を平成15年から実施しており、交流人口の拡大及び地場産業の振興を図ることで、活力ある町づくりをすすめています。また、あわせて、ふるさと大正町のよさと、四万十川の環境保全について考えるきっかけづくりを目的としています。

<http://www.town.taisho.kochi.jp>

- 主な催し: 鮎釣り大会、火振り漁、花火大会、ステージイベント、灯籠流し
- 各種教室&体験メニュー: 鮎釣り体験教室、鮎のつかみどり、鮎レース、うなぎのつかみどり、カヌー教室
- その他: 鮎市場(鮎の塩焼き・燻製・ひいとい干し・鮎井鰻のかばやき・鰻井・手長エビ等の販売) 各種出店(出展)コーナー(地場産品・地酒等の販売)



リバーパーク「鯰(なまず)の学校」

熊本県嘉島町



リバーパーク「鯰の学校」は、地域住民と嘉島町、国土交通省とが一体となり、加勢川の上流域に造り上げた水質浄化実験場です。

この施設がここに設置された背景には、加勢川が家庭用排水等によって九州の河川の中でワースト1になるほど汚染されてしまったことがあります。

嘉島町では、加勢川の河川改修により生じた旧河川敷を利用して町の「川の拠点」にしようという企画のなかで、水質浄化施設(敷地面積9,600㎡)を2003年の3月に建設・整備しました。施設の立ち上げにあたっては、みんなが使いやすい、管理しやすい施設を「造ろう」と、小・中学生やその先

生、嘉島町民等が、企画の当初から意見交換、討論を重ねました。

鯰の学校の目的としては、植物(シュロガヤツリ)を利用して水を浄化し加勢川へ放流する、次世代を担う子供たちの環境学習の場を造る、「川」に親しみ、遊び、学べる環境を造り、人材の育成をする、などが挙げられます。<http://www.town.kashima.kumamoto.jp>

イベント情報

平成16年4月から平成16年6月までの期間に全国各地で開催が予定されている様々なイベントを掲載しております。記事を読んで興味をもたれた方は、ぜひ一度現地を訪れてみませんか。

第14回しんとつかわ雪まつり

北海道新十津川町

真っ白な雪原の中に町の活気が広がる冬のイベントで、厳しい冬の寒さに負けない町の元気さを出していこうと始められて今回が14回目。会場では恒例となった冬鍋大会で冷えた身体を温める人で賑わい、賞品がかかったゲーム大会ではさらに歓声が広がります。また、子供たちはジャンボ滑り台を楽しんだり、各種模擬店をめぐるなど、家族みんなで冬の一日を楽しめるイベントです。



<http://www.dosanko.co.jp/sintotsu/>

- 開催日：1月30日(日) 10:00~14:00
- 開催場所：新十津川町北中央公園
- お問い合わせ先：新十津川町産業振興課 TEL：0125-76-2134

アイスクャンドルミュージアム

北海道下川町



北海道の北部には、毎年「豪雪」と「極寒」の冬が訪れます。そんな厳しい冬を楽しむことに変えたのが、下川町のアイスクャンドルです。

「アイスクャンドルフェスティバル」「アイスクャンドルパーク」から名称を変更した「アイスクャンドルミュージアム」は、アイスクャンドルを会場だけではなく商店街や民家に飾られた住民の作る6,000個以上のキャンドルが幻想的な光の世界を作り出し、町内全体がアイスクャンドルの美術館(ミュージアム)となっています。

31回目を迎える「アイスクャンドルミュージアム」。今や下川の冬の風物詩となったアイスクャンドルのイベントを、皆様も厳寒の星空の下で、神秘的な氷と光の世界を体験してみたいいかがでしょうか。<http://www.shimokawa.ne.jp/icpark/>



- 開催日：2月第3週土・日曜日
- 開催場所：万里の長城 他
- お問い合わせ先：下川町商工林務課

TEL：01655-4-2511(内線236)

全国グリーン・ツーリズム交流会喜多方大会

福島県喜多方市

全国のグリーン・ツーリズム実践者、大学や行政機関等の関係者、さらにはグリーン・ツーリズムに参加したい都市住民等が一堂に会し、情報交換やPR・体験等の交流を深め、グリーン・ツーリズムの進展および、地域の活性化をはかります。http://www.city.kitakata.fukushima.jp/info/inf_gttaikai.html

- 大会内容
 - ・グリーン・ツーリズム交流シンポジウム（基調講演、活動事例発表及びパネルディスカッション）
 - ・新酒を楽しむタベ 地産地消による晚餐会
 - ・ポスターセッション&交流会
 - ・喜多方のグリーン・ツーリズム体験
- 開催日：2月11日（金）・12日（土）
- 開催場所：喜多方プラザ文化センター
- お問い合わせ先：全国グリーン・ツーリズム交流会喜多方大会実行委員会事務局
TEL：0241-24-5237，FAX：0241-25-7073
E-mail：nourin@city.kitakata.fukushima.jp

水戸の梅まつり

茨城県水戸市



日本三名園の一つ偕楽園では約100種3,000本、江戸時代の日本最大級の藩校跡弘道館では約60種800本の梅が咲き誇り、例年130万人以上の人で賑わいます。

種類が多く、長い期間花を楽しむことができるのが特徴で、両会場では「歴史アドバイザー」が園内の見どころなどを丁寧に無料で案内しています。また、偕楽園では、期間中の土・日曜日に、野点や琴、雅楽の演奏会や俳句大会、梅大使やモデルによる撮影会、水戸黄門一行との記念写真サービスなどさまざまなイベントを実施する予定です。

<http://www.mitokoumon.com/maturi/ume/ume.htm>

- 開催日：2月20日～3月31日
- 開催場所：偕楽園・弘道館
- お問い合わせ先：水戸観光協会 TEL：029-224-441

祭頭祭（さいとうさい）

茨城県鹿嶋市

香取神宮（千葉県佐原市）、息栖神社（茨城県神栖町）と並び、東国三社のひとつに数えられる鹿島神宮。「祭頭祭」は、ここで行われる年間80回を数える祭事の中でも最も規模が大きく、遠く西国に送られていた「防人」に起源するとの説もあります。

祭りは出陣の神事、凱旋の神事、神占いの神事の大きく3つに分かれます。中でも凱旋の神事で披露される祭頭囃子では、黄色や水色、ピンクなどの色鮮やかな祭衣に身を包み1隊約15名で構成される囃子たちが7組から10数組と列になり、長さおよそ2mに及ぶ檜棒を手に囃歌を歌いながら勇壮活発に進みます。

<http://www.sopia.or.jp/kashima-kanko/>

- 開催日：3月9日（水）
- 開催場所：鹿島神宮
- お問い合わせ先：鹿嶋市商工観光課 TEL：0299-82-2911



奥日光ネイチャーウォッチングツアー

栃木県日光市



一年のうちで最も寒さが厳しい奥日光の2月。スキーやスノーボードとはひと味ちがう日光の冬を楽しむイベントが「奥日光ネイチャーウォッチングツアー」です。スノーシューを履いて雪深い森の中を歩けば、野性動物の足跡や春を待つ木々の芽吹きなど、普段はお目にかかれぬ新鮮な自然の姿に出会うことができます。26日はスノーシューレース、27日にはガイドの解説を聞きながらのスノーハイキングが行われます。<http://www.nikko-jp.org>

- 開催日：2月26日（土）・27日（日）
- 開催場所：奥日光湯元温泉周辺
- お問い合わせ先：日光市観光商工課 TEL：0288-53-3795

第24回蒲郡市農林水産まつり

愛知県蒲郡市

市内農林水産関係団体等の参加のもと、市民に農林水産業への知識と理解を深めていただき、その振興と発展を目的とした農林水産まつりを開催します。会場では、みかん、いちご、野菜などの農産物、あさり、のりなどの水産物、しいたけ、しめじなど林産物の即売会、奥三河の町村の物産展などが催されます。また、特別企画コーナーにて、各種イベントも用意しておりますので、お子様連れのご家族でも楽しんでいただけます。
<http://www.city.gamagori.aichi.jp/sangyou/nourin/nousei/matsumi.htm>



- 開催日：2月5日(土)～2月6日(日)
- 開催場所：蒲郡市競艇場
- お問い合わせ先：TEL：0533-66-1126

第6回米粉パン・寿司・濁酒in農家レストラン万願寺

兵庫県加西市



心豊かなふるさとづくりをめざす「原始人会」は、間伐材を利用した木炭造り、酒だるを使った風呂の整備など、ユニークな企画を次々と考えています。

今回のイベントは、日本人の食の原点であるお米を「手軽で楽しくゴージャス」に食し、「ごはん食」の素晴らしさを実感してもらいたいとの強い思いから企画されました。当日は、米粉パン・寿司・濁酒の試食・試飲が楽しめる他にも、フリーマーケットや陶芸教室、ライブが開催されます。

- 開催日：1月8日(土)10:30～
- 開催場所：加西市上万願寺町120 原始人広場
- お問い合わせ先：加西市上万願寺町120
TEL：0790-44-0150(原始人会・池田)

あったか滝野冬のまつり

兵庫県滝野町

「あったか滝野冬のまつり」は、寒い冬に心とからだがあっただくなる楽しいイベント盛りだくさん。こんな魅力が「あったか」と再発見です。おまつり会場は、巡回バスで結ばれており、一日楽しく遊べます。<http://www.town.takino.hyogo.jp/>

- メイン会場：地元の物産展やよさこい踊りに熱くなります。
- 蔵まつり：蔵見学や新酒の試飲が楽しめます。
- マラソン大会：播磨中央公園を楽しく走ります。
- ぽかぽか会場：滝野温泉ぽかぽかでお得なサービスがあります。
- 開催日：2月27日(日)
- 開催場所：滝野町庁舎周辺他2会場
- お問い合わせ先：滝野町観光協会
TEL：0795-48-3001



火渡り秘法(十輪院春の大祭)

広島県府中市



備後路に春の訪れを告げる火渡り荒行。健康と幸福を祈願する厄よけ・開運の荒行に誰でも参加できます。

- 開催日：3月1日(火)
- 開催場所：十輪院
- お問い合わせ先：十輪院 TEL：0847-45-3225

第16回山口県ふるさと凧あげフェスティバル

山口県小野田市

本まつりは、昭和50年に青少年の健全育成を目的に「少年少女たこ上げ大会」として始まり、平成2年からは規模を拡大して、山口県の大会として盛大に行われています。会場のきららビーチは、広々として電線や障害物がなく、海風が適度に吹き、凧あげに適しています。競技は、子供の部、一般の部、大凧連凧の部に分かれて行い、入賞すると地元の特産品がプレゼントされます。

また、見島の鬼ようずや下関安岡のふく凧、北九州の鳥凧など珍しい県内外の伝統凧の披露も楽しめます。その他、会場では凧づくり教室やうどんや豚汁のバザーもあります。



- 開催日：3月6日(日)
- 開催場所：小野田市きららビーチ焼野
- お問い合わせ先：山口県ふるさと凧あげフェスティバル実行委員会事務局（小野田市商工労働課内）
TEL：0836-82-1151

市制施行50周年記念太鼓台まつり

香川県観音寺市



きらびやかな金糸銀糸の刺繍や見事な技により彫られた落ち着きのある彫刻等で飾られた太鼓台（ちょうさ）は、まさに西讃地方の伝統文化といえます。観音寺市には56台の太鼓台があり、市町村ごとの保有台数としては日本一ともいわれています。

市制施行50周年を機に市内の太鼓台が一堂に集まり、かきくらべなどで競い合うイベントを実施し、市民とともに祝うこととなりました。あわせて、観音寺市のみなぎる躍動感を広くアピールする機会にしたいと思っています。

ぜひ、この機会に観音寺市へお越しいただき、太鼓台の魅力と私たちのふるさとに対する誇りと郷土愛を感じ、ともに祝っていただけることを願っています。<http://www.city.kanonji.kagawa.jp/>

- 開催日：3月27日(日)
- 開催場所：琴弾公園内有明グラウンド
- お問い合わせ先：観音寺市商工観光課 TEL：0875-23-3933

定期闘牛大会

愛媛県宇和島市

「定期闘牛大会」は、南予地方に300年以上前から伝わる伝統行事です。ドーム型の闘牛場にある土俵上で、体重1t級の牛が角をつき合わせて闘うさまは、迫力満点です。

<http://www.tougyu.com/>

- 開催日：1月2日(日) 12:00~15:00頃
- 開催場所：市営闘牛場
- お問い合わせ先：TEL：0895-25-3511



百々手祭り

福岡県二丈町



「百々手祭り」は、山盛りのご飯を食べて豊作を願います。おかずはクジラとセリの煮付け、アオサととうふのみそ汁などの4品。豪快な食べっぷりが見物です。<http://www.town.nijo.fukuoka.jp>

- 開催日：1月23日(日)
- 開催場所：淀川天神社
- お問い合わせ先：二丈町産業振興課・二丈町観光協会

からつ商工春まつり

佐賀県唐津市

今年で9回目を迎える「からつ商工春まつり」では、唐津・東松浦地区で生産・販売されている特産品をPRするため、地場製品の展示、販売及び商談会が開催されます。「商工まつり」は、商工ゾーンと高度情報化ゾーンに分けられ、快適住環境の提案・匠の逸品・新商品の紹介、IP電話体験・中古パソコン販売・情報化何でも相談室などが催されます。

同時開催の「農業まつり」では、安心・安全なフレッシュ地場製品の展示即売、「お魚まつり」では、獲れたての鮮魚・水産加工品の即売会や海鮮大鍋の実演・試食が行われます。また、地元学校の演奏会、ゲーム大会やパフォーマンスショーなどイベントも満載です。<http://www.karatsu.or.jp/>

- 開催日：3月19日(土)・20日(日)
- 開催場所：唐津市ふるさと会館「アルピノ」
- お問い合わせ先：唐津商工会議所 TEL：0955-72-5141

都城もちお桜まつり

宮崎県都城市

母智丘公園には約2,600本のソメイヨシノや八重桜が植えられており、公園内にある約2kmにわたる桜のトンネルは、華麗で幻想的な風景です。「日本の桜名所100選」にも選ばれており、毎年、市内外からたくさんの観光客で賑わいます。桜の開花に合わせて開催される「もちお桜まつり」では、民族芸能の披露やキャラクターショー、歌謡ショーなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。また、期間中はライトアップされた夜桜を楽しむこともできます。



- 開催日：3月27日～4月3日
- 開催場所：母智丘公園
- お問い合わせ先：都城観光協会 TEL：0986-23-2754

以上の情報の収集に当たりましては、都道府県関係課の多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

事務局からのお知らせ

● 皆様からの情報提供をお待ちしております

季刊「新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたらぜひご連絡下さい。なお、次号(第16号)につきましては、平成17年3月頃の発行を目標としております。1月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに各都道府県又は下記連絡先までご連絡下さい。全国各地の方々に「交流」に関する多くの情報の発信を行うため、皆様からお寄せいただいた情報については、できる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

● 原稿の提出方法について

「イベント情報」以外の各記事につきましては、原稿300～400字程度、「イベント情報」につきましては、原稿200～250字程度並びに「開催日」・「開催場所」・「お問い合わせ先」の必要事項を添えて提出して下さい。関連する写真などがありましたら併せて提出して下さい。

● 編集・発行：農林水産省農村振興局農村政策課 (担当=宮崎・清水・矢野)

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-8111(内線:4619) FAX:03-3595-6340

・農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧下さい。

農林水産省(<http://www.maff.go.jp>) トピックス 農村 農村振興局ホームページ

都市農村交流の総合案内(季刊 新往来)(<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)